



ボート形せっけん寄贈

北九州市に若松競艇場で展示へ

北九州市若松区の「シャボン玉石けん」が31日、観賞用のボート形せっけんを市に寄贈した。4月11日から同区の若松競艇場（ボートレース若松）で展示される。

同社は無添加せっけんの製造などを手がけ、同競艇

場で2014年に最高峰レースのSG戦が開かれた際は、ファンサービスで配る通常サイズのボート形せっけん7万個を作った。今回寄贈したのは幅30センチ、高さ15センチ、奥行き13センチの大形せっけん3個。同競艇場のキャラクター「かつ

ばくん」が操縦している写真。8月のSG戦開催が決まったことから、同社と競艇場がPRのため制作を企画し、西日本工業大の協力を得て完成させた。3Dカッターでブロック状のせっけんを削り出したという。

市役所であった寄贈式で、同社の森田隼人社長は「多くの人に見てもらい、『環境の北九州』をアピールしたい」と語った。